

航空機事故発生時の初動活動に主軸を置いた 「航空機事故消火救難合同訓練」を実施します！

成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、事故発生直後の初動活動に主軸を置き、関係機関相互の更なる連携強化を図ることを目的として、下記のとおり消火救難合同訓練を実施します。

なお、事故発生から事態収束までの一連の活動を行う大規模訓練（航空機事故消火救難総合訓練）は、本年10月に予定しています。

記

1 訓練の概要

日時:2018年6月15日(金) 13時30分～15時00分

※雨天決行(荒天時中止)

場所:成田国際空港A滑走路西側 NAA消火訓練場(成田市三里塚)

主催:成田市消防本部、成田国際空港株式会社

2 参加機関、人員、消防及び警察等車両台数(5機関 約200名、約20台)

成田市消防本部、千葉県警察本部、日本医科大学成田国際空港クリニック、
成田空港警備株式会社、NAAセーフティサポート株式会社

(参考)

航空機事故消火救難総合訓練(2016年10月実績:約70機関 約1,500名、約300台)

3 訓練の特徴

本訓練は、廃バスを航空機に見立て、事故発生直後より初動活動にあたる消防、警察、空港内医療機関により、消火、負傷者の救出(切開救助等)、救護処置など一連の活動を実践し、各関係機関の初動対応の確認、現場での連携体制の確認を行います。

【主な訓練項目】

- ① 関係機関相互間の情報伝達及び出動
- ② 航空機火災を想定した消火
- ③ 負傷者の救出、避難誘導及び搬送
- ④ 救護所等の設営、負傷者選別及び救護処置
- ⑤ 現場調整所の開設及び運用
- ⑥ 事故に係る各種警備及び規制等



昨年度訓練の様子